【あなたが先に稼ぎなさい】

禁断のインジケーター QQE

FX 初心者でも簡単

副業としてのFXで月に20万円稼ぐ方法

タイ在住 FX トレーダー　みかみ

すぐに、だれでも簡単に

FX 初心者でもエントリーポイントが
簡単にわかる高性能サインツール

目次

はじめに

第１章　「QQE―MA」をチャート画面へ

「QQE」について

第２章　エントリーとイグジット方法

エントリーポイント
１　ＱＱＥ移動平均線が５０のラインをぬけたとき
２　移動平均線が５０ラインより上にあるときに、ＱＱＥラインが移動平均を下から上に抜けたとき。

イグジット（決済）ポイント
１　エンベロープ 0.15～0.25
２　損切について

はじめに

本書には「初心者でも簡単」とサブタイトルにありますが、「初心者」といっても、本書では「FX とはなにか？」「ロングとは？　ショートとは？」「スプレッドとは？」「ロット、pips とは？」というようなところから説明するものではありません。

もし、あなたが「FX とはなにか？」「ロングとは？　ショートとは？」というレベルでしたら、そのようなことを解説したサイトはたくさんあるでしょうし、書籍も数多く出ていると思いますので、まずはそれらを身につけたうえで‘（あるいは同時並行しながら）、本書を読んでいただきたく思います。

野球にたとえると「三振って何？」「フォアボールって何？」というレベルから始めるのではなく、ある程度ルールは知っているが、どうも打てなくて打率が２割にも満たないというような人のために書かれたものです。

つまり、FX とはどんなものかという概要を示すのではなくて、もっと実践的な勝ち方を

YouTube 動画やチャート画像で示しながら、具体的に教えるものとなっています。

※本書では「シングルボリンジャー」のことを以前の名称「BB ストップ」と表記されている箇所があります。(画像内はすべて旧名称が使用されています)

※本書で用いられているチャート画像はすべて５分足です。

■第１章「QQE-MA」をチャートへ

「QQE」について

まず、QQE というインジケーターをご存じでしょうか？

これは MT4 にもともと入っていないことが多いのですが、これは FX 業者の陰謀なのではないかと思うくらいです。

どういうことかというと、ご存じのように多くのＦＸ業者は顧客の注文を呑んでいます。
つまり、顧客からの売買注文をインターバンクに流さず、自分のところで引き受けるのです。

なぜなら多くの客は損をしてくれるから。
すると、その客の損がＦＸ業者の利益になります。
ですからわざわざ注文をインターバンクに流す必要がないのです。
（もちろんすべての業者がそうだというわけではありませんが。）

逆に言うと客にあまり勝たれるとＦＸ業者は利益がなくなるのです。

だから、この「QQE」というすぐれたインジケーターはもともとＭＴ４に入れてなくて、知る人だけが知っているというような形になっているのではないかと勘ぐってみたくなるほどのものだと思っています。

なぜなら、これを使うと客が勝ってしまうから。

だからこそ本書のサブタイトルにあるように「禁断のインジケーターQQE」なのです。
一種のタブーのようなものではないかと思ってしまうほどです。

実際にはそんなことはまったくないのでしょうが、要するに私が言いたいのはそれくらいすぐれたインジケーターだということです。

今日はこの「QQE」を改良した「QQE-MA」というインジケーターをプレゼントいたします。

ご自身の PC にダウンロードした後は、MT4 に入れないといけないのですが、
MT4 への入れ方についてはいろんなサイトで紹介されています。

たとえば

https://note.com/pandafx/n/nd493a07f5b59
https://sherry-toushi.com/xm-mt4-ex/

など。

MT4 にファイルを入れることができたら、チャートに表示させる前に、MT4 の再起動が必要です。
これを忘れないようにしてください。

■第２章　「QQE-MA」をつかったエントリー方法

もし私がトレードで２連敗して「やばい！」と感じ、次は絶対に負けられないと思ったとき、次のトレードは「基本に忠実に」ということを心がけます。

では、この「基本に忠実に」とはどういうことかというと、それは「QQE-MA」のルールを守る、具体的には「QQE-MA が５０のミドルラインを越えるときにトレードする」ということです。

そうすると勝率はかなり高くなります。

「QQE-MA」の使い方としては主に２つのパターンがあります。

１　５０のミドルラインを抜ける。
２　QQE の平均線とのゴールデンクロス、デッドクロスを狙う。

この２つですが、逆にいうと、この２つのうち、どちらかの条件を満たしていないときはエントリーしないということも大切です。

これはサインツール「クワトロアルファ」の２本のバーの色が揃っていてもです。

具体的にチャートで見ていきましょう。

（1） まずは鉄板パターンから。

チャート画像〔1〕

お昼１２時すぎに鉄板パターンのチャート形状となりました。

この画像では見えていないのですが、下の方に１時間足のシングルボリンジャーがありますので、ロング狙いです。

午前１０時ごろに、５分足と１５分足のシングルボリンジャーも抜けました。

しかし、２本のクワトロアルファバーの色は上昇の赤になっていません。

そして、お昼１２時すぎに２本のクワトロアルファバーの色が赤でそろいました。
QQE-MA を見ると、ほとんど同時に水色の QQE ラインが、白色の水平線（５０ライン）を上にぬけ、その直後に黄色の QQE の平均線も抜けました。ゴールデンクロスです。

これで鉄板パターンの完成です。

一波で約４０pips の上昇です。３０分くらい休憩して、さらに４０pips くらい伸びています。

楽勝ですね。

こういう鉄板パターンだけをトレードしていたら着実に資金は増えていくと思いますよ。
しかし、相場は簡単なときばかりではありません。

ときにはランダムな動きをして、私たちを戸惑わせます。
そこで、ここからはいろいろなパターンをあげていきますので、考え方の芯を一本しっかりつくってください。(重複パターンもあります)

（２）QQE-MA が５０ラインを越える。

チャート画像〔２―１〕

まず、チャート画面に黄色でマル囲みした部分ですが、これは最後にぬけたシングルボリンジャー（上では青色、下では赤色）が、長い時間足（この場合は１時間足）なので、ここを抜けたからと言って、ここからエントリーするのは危険です。

もちろん相場はどうなるかわからないので、ここから大きく伸びることだってあるのですが、確率でいうと、ここでエントリーすると負ける可能性が高いのです。

しかし、「クワトロアルファ」の黄色矢印サインは、ここより１時間～１時間半くらい前に点灯しています。

このときにエントリーするとどうでしょう？

次のチャート画像をご覧ください。

チャート画像〔２－２〕

この画像では、その前のチャート画像〔２―１〕から１時間足のシングルボリンジャーを

消してみました。

この画像で注目していただきたいのは、サブウィンドウの二つのインジケーターです。

黄色い四角で囲んだところが２か所あります。

ここでは

１　まず２本のクワトロアルファバーの色が２回ともそろっています。
２　そして QQE-MA が５０のミドルラインを越えました。

かつ、①では５分足のシングルボリンジャーをぬけ、②では１５分足のシングルボリンジャーを抜けています。

この３つがそろうときが鉄板パターンです。

ただ、この場合、１時間足のシングルボリンジャーが①では上でフタをし、②では下支えをするような形になっていました。（チャート画像〔２―１〕参照）

この１時間足のシングルボリンジャーに逆らうと痛い目にあうことが多いのですが、ただ、この２枚目の画像のように、QQE-MA が５０を抜けたというタイミングでは、まず１時間足のシングルボリンジャーまでねらうというエントリーも可能です。

そして、うまくいったとしても、１時間足のシングルボリンジャーにタッチしたあとは、そこで止まってそこから逆行するのか、それとも１時間足のシングルボリンジャーをぬけて、さらに進むのかは、そのときの勢い、動きによります。

こういうトレードは「長期の方向性に乗る」という教科書通りのトレンドフォローではなく、いわば応用トレードのようなものですから、初心者の方はあくまでも長い時間足に逆らわず、長い時間足の方向に短い時間足がそろってエントリータイミングがきたときにだけエントリーしたほうが無難だと思います。

上のチャート画像〔１〕のようなパターンの時ですね。

しかし、このチャート画像〔２―1〕〔２－２〕のように、上昇で６０pips、下落で６０pips とれるということもあるので、いちおう裏技的な方法として、このような手法もご紹

介しておきます。

ただし、QQE-MA が５０を抜けたところでエントリーというのは王道中の王道ですから、勝てる確率は高いと思います。

（３）QQE-MA がデッドクロス

チャート画像〔３〕

このチャート画像ではエントリータイミングは①と②の２回ですが、どちらも「鉄板パターン」ではありません。

鉄板パターンを確認しておくと、

１　３つのシングルボリンジャーの方向が同じであること。
２　２本のクワトロアルファバーの色が揃うこと
３　QQE-MA が５０ラインを抜けること。

この３つがタイミングよくそろったときが鉄板パターンです。

上の画像の①では、「１　３つのシングルボリンジャーの方向が同じであること」という条件を満たしていません。
１時間足のシングルボリンジャーが上でフタをしています。

これは上で紹介した「（２）QQE-MA が５０ラインを越える」というパターンです。
ただし１時間足のシングルボリンジャーがふたをしているので、狙うのはまずはそのあたりまで。
この画像ではきれいにそこで跳ね返されていますね。

それでも３５pips も取れれば十分ではないでしょうか？

つぎにエントリーポイント②ですが、これは鉄板パターンのための３つの条件のうち、
「１　３つのシングルボリンジャーの方向が同じであること」という条件を満たしているのですが、
「３　QQE-MA が５０ラインを抜けること。」という条件を満たしていません。

ここで紹介したい応用（裏技）トレードは、「QQE-MA のゴールデンクロス、デッドクロスをねらう」ということです。（この場合はデッドクロスですね。）

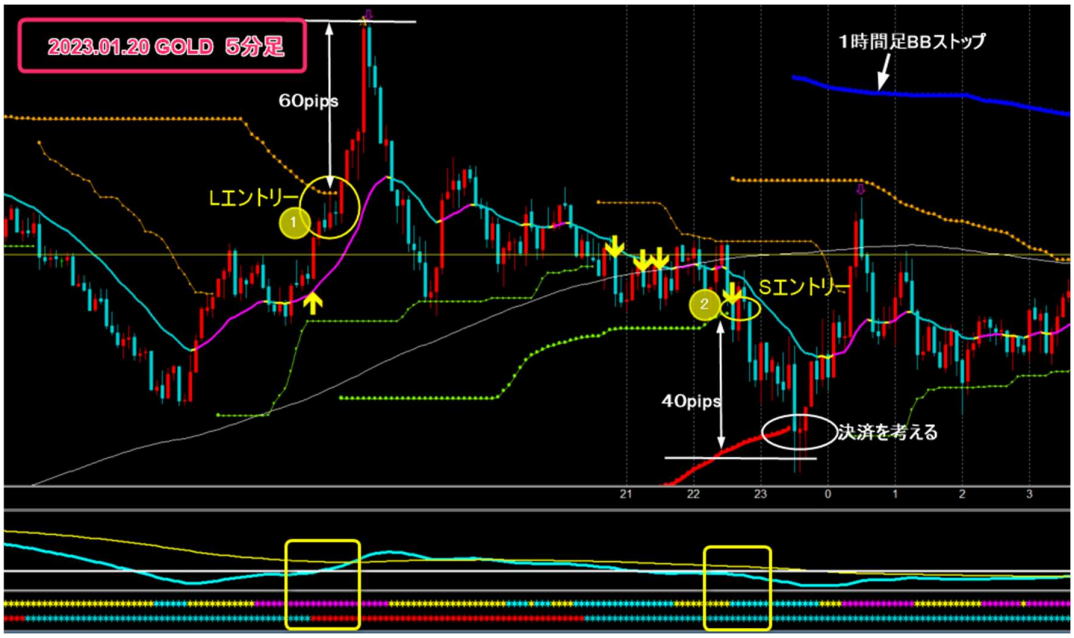
鉄板パターンの３つめを「３　QQE-MA が５０ラインを抜ける」から「３　QQE-MA のゴールデンクロス、デッドクロスをねらう」とすれば、これで条件が整います。

このときは、むしろ「QQE-MA が５０ラインを抜ける」まで待つことはできません。
いかにもタイミングが遅すぎて、反発するだろうことは目に見えています。

このように鉄板パターンの１と２は満たしている場合、３は「QQE-MA のゴールデンクロス、デッドクロスをねらう」という方法で、ここでも３５pips とることができます。

（４）１時間足のシングルボリンジャーまで狙う

チャート画像〔４〕



このチャート画像ではエントリータイミングは２回です。

まず①はすべての条件を満たした鉄板パターンです。
水色の QQE-MA は２本のクワトロアルファバーの色が揃うとほぼ同時に５０ラインを下から上に抜けています。

そしてほどなく、ゴールデンクロス。
このゴールデンクロスとほとんど同じタイミングで１５分足のシングルボリンジャーも抜けました。

ここでエントリーです。６０pips も上昇すれば十分でしょう。

次にポイント②ですが、これはもうお分かりのように「３つのシングルボリンジャーの方向が同じであること」という条件を満たしていません。

レート（ろうそく足）は下へと向かっていますが、下には１時間足のシングルボリンジャーが控えています（青い線）。

しかし、２本のクワトロアルファバーの色が青色にそろい、QQE-MA もしばらく５０ライン付近で真横に推移していましたが、ようやくこの②のあたりから下放れてきました。

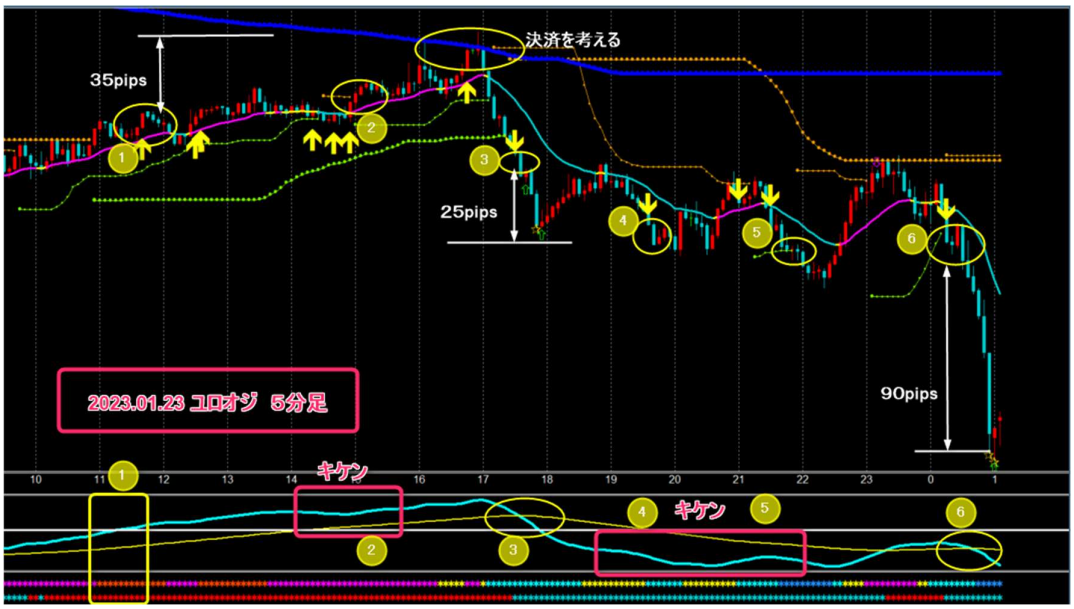
これを５０ライン抜けとみて、エントリーし、１時間足のシングルボリンジャーまで狙うことができます。

１時間足のシングルボリンジャーはボリンジャーバンドの＋２σですから、１時間足トレーダーでも、ショートをもっていればここで決済（ロング）する人がいます。
またここから逆張りでロングをする人もいるため、いったんここは跳ね返りやすいところだと考えてください。

もちろん相場に勢いがあれば、突き抜けていくこともありますが。

（５）最後にいろいろなパターンを見ていきましょう。

チャート画像〔５〕



チャート画像の①～⑥について一つずつコメントしていきますね。

まず①ですけれども、これは上に 1 時間足のボリンジャーストップアラートが蓋をしているので、普通はロングをしないところです。

しかし、サブウィンドウの方を見ると 2 本のクワトロアルファバーの色は赤でそろっていますし、水色の QQE も 50 ラインを上に抜けています。

このサブウィンドウのインジケーターが示すものはロングエントリーで完璧なパターンです。

ただしローソク足では上に 1 時間足のボリンジャーバンドが蓋をしているのでなかなかロングエントリーはしにくいところです。

もしロングエントリーするとしたら、この 1 時間足のボリンジャーバンドまでの上昇を狙うということで考えたいと思います。

ですから、この幅があまりない場合、１０pips や２０pips ですぐにこれにぶつかるというような場合は、スプレッドもあるのであまり利益にはなりません。

ですから、そういう時はエントリーを見送るべきです。

もし、この①でエントリーしていれば、１時間足のシングルボリンジャーにぶつかったところで決済です。

これで 35pips くらい取れたことになります。

次にエントリーポイント②ですけれども、これは上に書いた通り、もう 1 時間足のシングルボリンジャーまでわずかしかありません。

おそらく 20pips ぐらいしかないと思います。
ですからここではエントリーしない方が無難です。

それからもう一つ大きな点があります。

サブウィンドウを見てください。

「キケン」とカタカナで書いてます。

要するに QQE がこの場面では別に 50 ラインを抜けたわけでもなく、ゴールデンクロスしたわけでもないのです。

ですから、こういう場合は非常に危険です。

あまり上値余地がないというふうに考えてください。

次に③です。
この場合はシングルボリンジャーをすべて抜けています。

サブウィンドウを見ると QQE はデッドクロスをしています。

２本のクワトロアルファバーは青色で揃っていますから、ここはエントリー可能です。

ただし、結果的には 25pips しか伸びていません。

これはずっと持っていてもマイナスになるところまでは戻らないので、逃げるチャンスはいくらでもあったかと思います。

これはエントリーが悪いのではなく、相場が動かなかっただけですから、仕方がありません。

そんなに毎回毎回こっちの都合のいいようには動いてくれません。

エントリーはしっかりしたところでしているので、それを淡々とくり返すことが大切です。

次に④⑤についてですが、これはどちらも黄色い矢印サインが出てます。

要するに２本のクワトロアルファバーの色がここで揃ったということです。

しかしサブウィンドウの QQE-MA を見てください。

ここでもまた「キケン」とカタカナで書かれています。

つまりこれも 50 ラインをここで抜けたわけでもなし、ここでデッドクロスしたわけでもなし、ということで、水色の QQE はずっと長い間下の方に位置しているので、いつ反発するか分からないという状態です。

こういう場面は非常に危険なのでエントリーは避けた方が無難です。

最後に⑥を見てください。

これはまずローソク足で言うと 5 分足のシングルボリンジャーを下抜けて、すべてのシングルボリンジャーが上に位置するようになりました。

サブウィンドウを見ても 2 本のクワトロアルファバーの色は青で揃っていますし、QQE-MA はレッドクロスしています。

これはほぼ鉄板パターンに近い形です。

真の鉄板パターンとしては本当は QQE がもう少し上（50 ラインの上）から落ちてきて、50 ラインを下に抜けるという形になれば一番いいのですが、この⑥の形はそれに次ぐ鉄板パターンの形と言えるでしょう。

そしてここでは約９０pips 伸びていますが、この「伸びる」というのは何かがいいというわけではなく、はっきり言って偶然です。

90pips を意識して狙うことは不可能だと思います。

その前の③の 25 pips も同じです。
これもたまたま 25pips で止まりましたが、場合によってはここで伸びたかもしれませんし、この⑥では全く伸びなかったかもしれません。

これは、もちろんその他の通貨ペアの強弱ですとか、市場参加者の動向ですとか、時間帯など、いろんな要因によるものなのでしょうが、我々はそこまですべて見通すことはできないので、ただ動きを追っていくしかありません。

そこで③では 25pips しか伸びなかったので、このとき損をしない程度のところでうまく処理をし、そして⑥ではうまく伸びてくれたので大きな幅を取るというようなことを繰り返していけば資金は着実に増えていくと思います。

このチャート画像については以上ですが、QQE-MA の利用の仕方についてはご理解いただけたでしょうか？

本書では、次に、「QQE-MA」の設定値を変えて、これまでとはまったく別のトレード方法を記してみます。

これは「王道」とは異なるため、「取り扱い注意」なのですが、QQE-MA の特性を知っていただくために数多くの例をあげることにしました。

軽く参考にしてください。